

取扱説明書

日立インフォメーションディスプレイ

形名

LCM49-D1

LCM55-D1



このたびは日立インフォメーションディスプレイをお求めいただき、ありがとうございました。
本書は、各モデルの共通の取扱説明書となっています。それぞれの機種特有の取り扱いについては、LCM49-D1、LCM55-D1と表記しています。

最初に

この取扱説明書に記載の【使用上のご注意】をお読みください。
本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

はじめに

- この「取扱説明書」を通してお読みください。特に「使用上のご注意」(14～14ページ)はよくお読みください。
- 誤ったご使用方法は本機に悪い影響を与え、早く故障に至ったり、あなたや他の人々へ危害が加わったりする恐れがあります。
- 本機の設置時やご使用時に何かの不具合が生じた場合には、まず最初にこの取扱説明書の「故障かな?と思ったら」のページをご覧ください。(35～37)
- 万が一、本機に重大な問題が生じた場合には、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、すぐ購入先にご連絡ください。

本書についてのご注意

- 本書の内容は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容は、万全を期して作成していますが、万一お気づきの点、ご不明な点がございましたらお買い上げの購入先または当社までご連絡ください。
- 運用に際しましては、ハードウェアやソフトウェアの仕様、制限などの前提条件を十分にご理解いただいたうえでご活用ください。誤って運用した結果につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容の一部あるいは全部を、無断で複製、転載しないでください。
- 本書に記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス等について

- VGA および XGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standard Association の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing Administrator, Inc. の登録商標です。
- DisplayPort は Video Electronics Standards Association の登録商標です。

ソフトウェアについて

本機に内蔵されているソフトウェアを解読したり逆利用したりすることは禁じられています。

特長

- 狭額縁のスリムデザイン
- 大画面、高精細液晶パネル
- 高解像度表示 (水平 1920 x 垂直 1080)
- HDMI 端子装備
- D-SUB 入力端子装備
- DISPLAY PORT 端子装備
- 低消費電力設計
- IPS パネル採用による高視野角 上下左右 178 度

もくじ

はじめに	2	設置設定	26
本書についてのご注意	2	メニュー機能の使いかた	26
ライセンス等について	2	メニューアイコン	26
ソフトウェアについて	2	メインメニューリスト	27
特長	2	映像調整	28
もくじ	3	画面調整	29
使用上のご注意	4	色調整	30
安全上のご注意	5	OSD 設定.....	31
お守りください	12	本体設定	32
お知らせ	13	PC(パソコン)で本機を制御する(RS-232C)...	33
据え付けるときのご注意	14	接続のしかた	33
クイックスタートガイド	15	接続端子	33
各部のなまえ	17	通信仕様	33
リモコン	17	コマンド一覧	34
本体前面	18	故障かな?と思ったら	35
本体側面	18	画面にメッセージが表示されたとき	35
準備	19	症状と確認内容	36
リモコンの取り扱い	19	仕様	38
移動するときのご注意	19	入力信号	39
接続	20	推奨信号について	40
1. インフォメーションディスプレイに電源コードを接続する ...	20	保障とアフターサービス	41
2. お手持ちの機器と接続する	20	お客様ご相談窓口	42
HDMI 出力対応機器と接続する	20	外形寸法について	43
ビデオ出力端子付き機器と接続する	21	スタンド/壁掛け/天吊りユニット取り付け時について ...	45
PC (パソコン) と接続する	21		
アナログ音声入力対応のオーディオ機器と接続する	21		
3. ケーブル用クランプの取り付け	22		
4. 電源プラグをコンセントに差し込む	22		
基本操作	23		
電源を入れる / 切る	23		
スタンバイ / 受像ランプの状態と電源状態	23		
音量を上げる / 下げる	24		
音を消す	24		
入力切換	25		
入力信号画面表示	25		

使用上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷*¹を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害*²を負う可能性が想定される内容および物的損害*³のみの発生が想定される内容を示しています。

* 1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒など後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさしています。

* 2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。

* 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

図記号の例



気をつけなければならない。「注意」を示します。



感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。



してはいけない。「禁止」を示します。

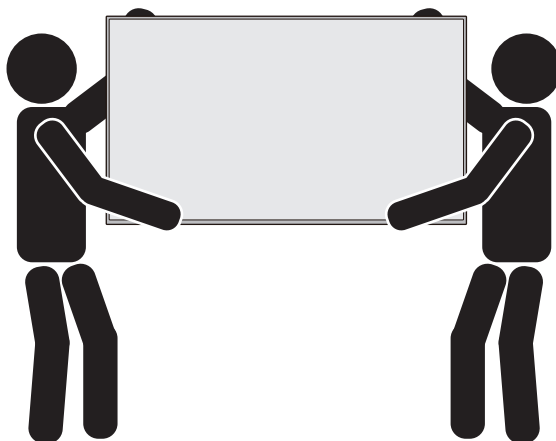


必ず行う。「強制」を示します。

本製品を移動する際は、下図のように本製品の背面および下部の取っ手をつかんでください。

● 移動する際は、本製品を水平にまっすぐ立てたままにしてください。

● 本製品の下部をつかむ際は、本製品の角部分を持たないでください。



使用上のご注意（つづき）

安全上のご注意

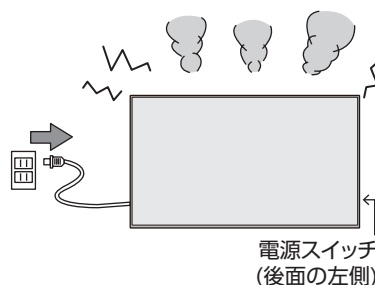
●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

異常や故障のとき

警告

- 煙が出ている、へんなにおいや音がするときは、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

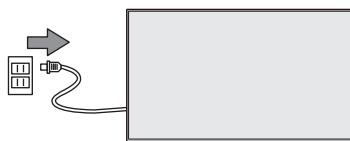
異常のまま使用すると、
火災・感電の原因となります。
煙が出なくなることを確認して
購入先に修理をご依頼ください。



注意

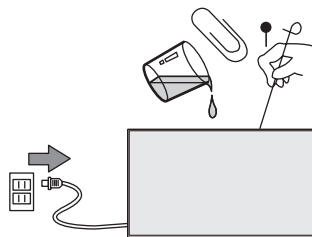
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから購入先にご連絡ください。
そのまま使用すると
火災・感電の原因となります。



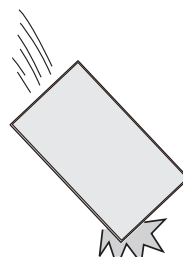
- 内部に水や異物などが入った場合は、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから購入先にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、
すぐに本機の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから購入先にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



使用上のご注意（つづき）

設置するとき

警告

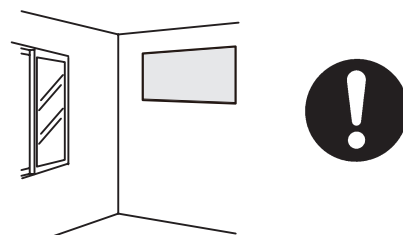
■電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、火災・感電の原因となることがあります。本機は電源スイッチが「切」の状態でも、微弱な電流が流れています。



■壁・天井に取り付ける場合は、必ず別売の専用の壁掛け金具・天吊り金具を使用し、専門の業者に依頼する

専門業者以外の方が壁掛け金具・天吊り金具を使用して設置すると、壁や天井への取り付けがもろい場合に、本機が落下し、打撲や骨折など大けがの原因となります。



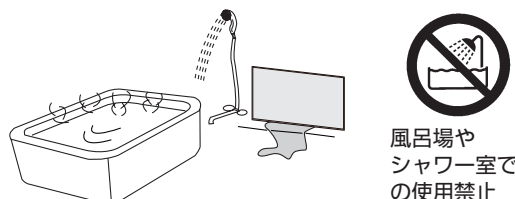
■スタンドに取り付ける場合は、必ず別売の専用スタンドを使用し、ぐらついた所や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



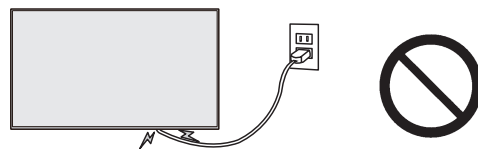
■風呂、シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。



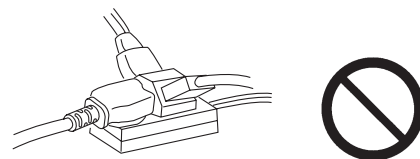
■電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない

コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。



■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

- たこ足配線など、定格を超えると発熱により、火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。



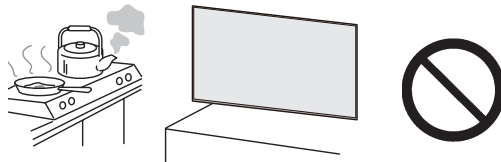
使用上のご注意（つづき）

設置するとき（つづき）

⚠注意

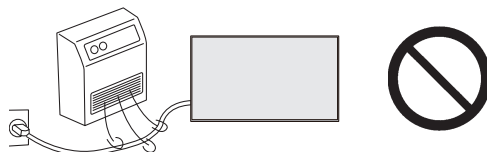
- 湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所やエアコンの下など、水滴が落ちる場合のある場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



- 電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

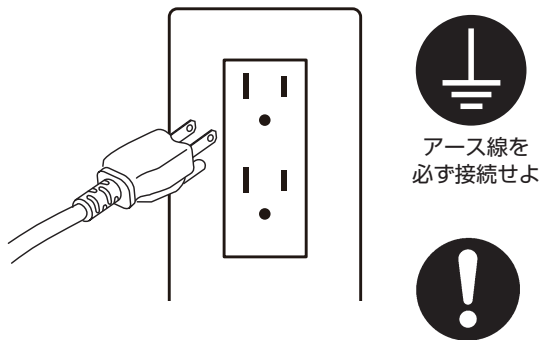
- 機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
- 本機は質量が大きく奥行きがなくて不安定なため、一人で作業をすると思わぬけがの原因になります。



- アース線を必ず接地する

安全のために必ず、アース接地してご使用ください。接地されたコンセントに接続してください。

- 2極コンセント（アースなし）の場合は、アース工事が必要となります。アース工事は、購入先・電気工事店にご依頼ください。
- 電波障害や他機器への妨害、また、他機器からの妨害を受けないためにも、必ずアース線を接続してご使用ください。



使用上のご注意（つづき）

設置するとき（つづき）

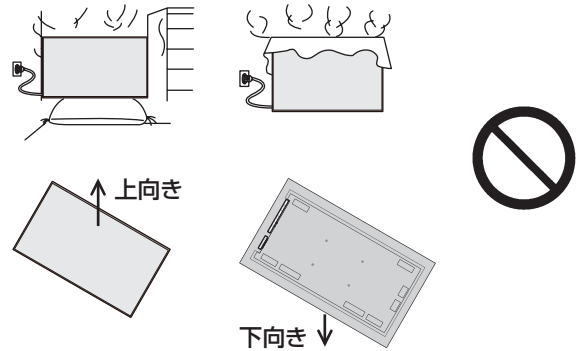
⚠️ 注意

■本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。
また、本機の設置は、壁から左右 5cm 以上、
上部は 20cm 以上、下部は 5cm 以上離す。
また、本機を壁掛けする場合は、本機の背面を
壁から 4.3cm 以上離す。

特に次のような使い方はしない。故障の原因となります。

- 本機を上向きや横倒し、下向きにする。
- じゅうたんの上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。



■本機を頭や顔、手足などをぶつけるような場所に設置しない

けがの原因になることがあります。

- スタンド・壁掛け・天吊り据え付け時には、
頭などをぶつけることのないように、
取り付けの高さにご注意ください。



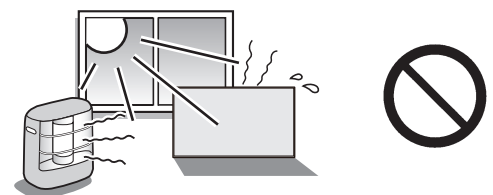
■本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください

医療機器の誤動作の原因となる場合があります。



■直射日光の当たるところや熱器具のそばに置かない

キャビネットが変色、変形などの劣化を起こす原因になることも
あります。



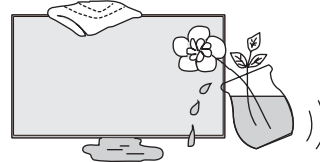
使用上のご注意（つづき）

使用するとき

警告

■本機の上に花瓶、植木鉢や水などの入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。

●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

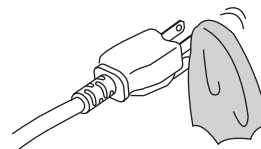


水ぬれ禁止

■電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

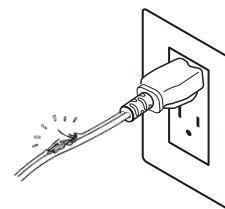
定期的（年に1回くらい）に清掃してください。



■電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

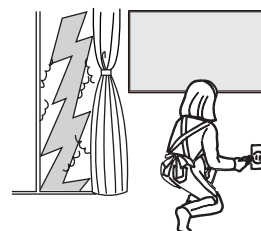
コードが破損して、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）購入先に交換をご依頼ください。



■雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

感電の原因となります。

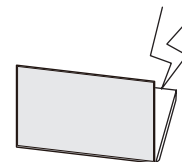


接触禁止

■本機の裏ぶたは外さない、本機を改造しない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

内部の点検・整備・修理は購入先にご依頼ください。



分解禁止

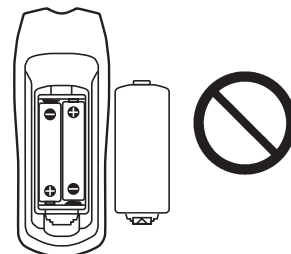
使用上のご注意（つづき）

使用するとき（つづき）

⚠注意

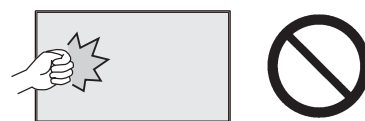
■間違った電池の使い方をしない

- 乾電池は充電しない。
 - 指定以外の電池は使用しない。
 - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
 - 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
- 電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



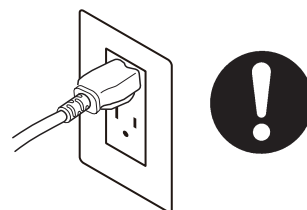
■液晶パネルには、絶対に衝撃を加えない

本機の前面パネルをたたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。



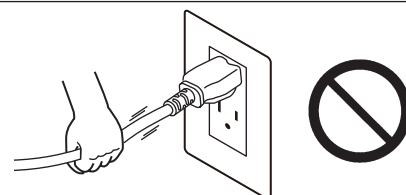
■電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



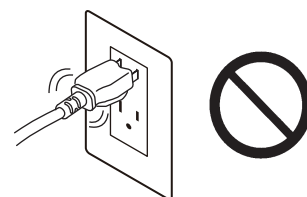
■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



■電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。購入先や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



■本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に、小さなお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



■乾電池、ネジなど小さな付属品などは幼児の手の届くところに置かない

飲み込むと窒息死する原因になります。万一飲み込んだ場合は医師に相談してください。



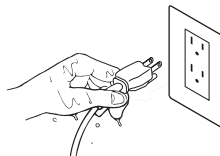
使用上のご注意（つづき）

使用するとき（つづき）

⚠注意

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

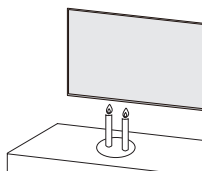
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

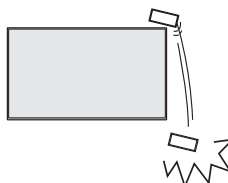
■機器の近くにローソクなどの裸火を置かない

火災・感電の原因となることがあります。



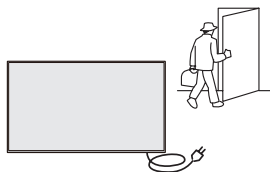
■本機の上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



■長時間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。



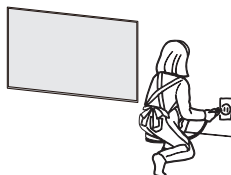
電源プラグをコンセントから抜く

お手入れするとき

⚠注意

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

■前面枠やバックカバーのお手入れは、柔らかい布で軽く拭いてください

前面枠やバックカバーの光沢部分は、傷が付き易いのでお手入れの際には、必ず柔らかい布をお使いください。



■年に一度くらいは、内部の掃除を購入先などにご相談ください

本機の内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については購入先などにご相談ください。



使用上のご注意（つづき）

お守りください

■高温になるところでの使用、保管はしないでください

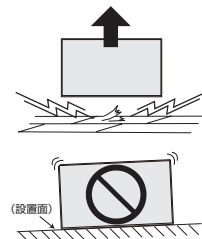
短時間での故障、前面枠、バックカバーやその他の部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

- 直射日光や熱器具の近くなど。

■24時間稼動する場合は、バックライト [28] の設定は初期値のままでご使用ください。

■平坦で安定する場所に設置してください

- 故障の原因となるため、設置場所は十分な耐荷重強度のある、平坦で安定した場所を選んでください。（傾斜面や、カーペット・畳などの安定しない面、変形する面などに設置しないでください）



■パネルを押したり、物をぶつけないでください

液晶パネル表面には保護ガラスがありません。指・手などで押したり物をぶつけると、液晶セル・ガラスが破損し、故障やけがの原因となります。

■パネルのお手入れは、柔らかい布で拭いてください

- 本機のパネル表面は、特殊なフィルムやコーティングが施されています。お手入れの際には、柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。
- 硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネル表面のフィルムや特殊コーティングが傷付きますのでご注意ください。
- ガラス用クリーナーやスプレー式のクリーナーは、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、内部に侵入し、故障の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんやアルコール、ベンジン、シンナー、酸性/アルカリ性/研磨剤入り洗浄剤などは、その成分により、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、変色する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

■前面枠やバックカバーのお手入れの際、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください

- 前面枠やバックカバーの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんは、前面枠やバックカバーが変質する原因となりますのでご使用にならないでください。
- 前面枠やバックカバー、操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
 - ・酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹼、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど
- 前面枠やバックカバーの光沢部分は、傷が目立ちやすいので、お手入れ、お取扱いには特にご注意願います。

■輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください

- 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。
- 横倒しでの輸送はしないでください。パネルが破損する、または面欠点が増加する可能性があります。

■乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。



■本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは、必ず、最寄りの市町村窓口または購入先に正しい廃棄方法をお問い合わせください

使用上のご注意（つづき）

お守りください（つづき）

■インフォメーションディスプレイをご覧になるときは、適度な距離と明るさでご覧ください

- 画面の縦の長さの3～7倍離れた場所でご覧になれば、見やすく目が疲れにくくなります。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。
- 長時間連続して画面を見ていると目が疲れます。時々、画面から離れて目を休めてください。

■適度な音量で隣り近所へ配慮してください

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■スピーカー部のお手入れは布を使用しないでください

スピーカー部には小さな穴が開いており、布で拭くとほこりがセットの中に入ってしまう可能性があります。お手入れの際は先端に柔らかなブラシのついた掃除機で軽く吸い取ってください。

お知らせ

■面欠点について

パネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■残像について

1日に18時間を超える静止画面表示は避けてください。残像が発生する場合があります。静止画表示の場合は、表示パターンを一定時間ごとに変更をお願いします。

通常、残像が発生した場合も定期的に映像を切り替えることにより、徐々に解除できます。なお、さらに長時間にわたって、静止画表示を行った場合、残像が解消できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

■スマアについて

縦線が連続する静止画を表示する場合、その左右にうっすらと縦線が見える場合があります。これは液晶パネルの特性であり故障ではありません。表示するパターンを変更することで改善できます。

■低温度環境での使用について

液晶の特性により、周囲の温度が下がるにつれ液晶の応答速度が遅くなり、映像が残像として見えることがありますが、故障ではありません。常温環境下に戻し、しばらくすると回復します。

■パネル表面温度について

液晶ディスプレイは、内蔵しているLEDランプを点灯させることにより映像を表示しています。そのため、液晶パネルの表面温度が高くなる場合があります。

■本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、上部やパネル表面が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。

■パネル駆動音について

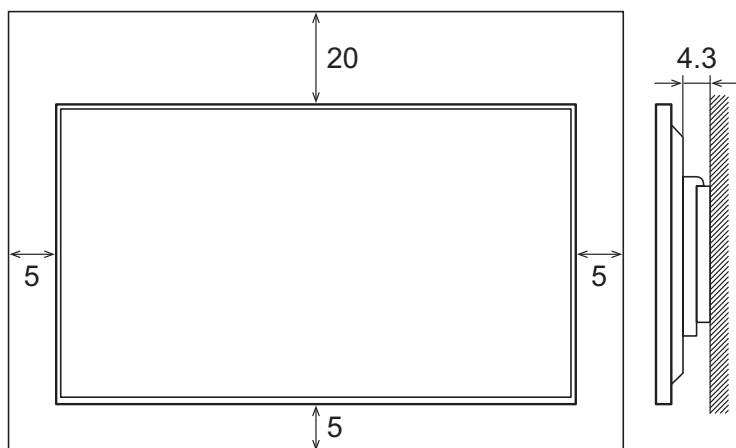
視聴中に、「ジー」というパネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

使用上のご注意（つづき）

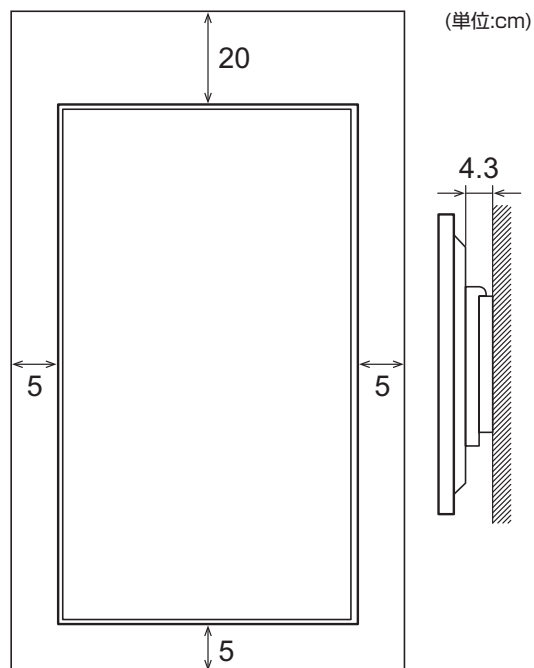
据え付けるときのご注意

- ① 本機の周囲は放熱のため、下図の空間を十分に確保してください。
- ② 密閉したケースや棚などに設置したり、通風孔をふさいだりすると内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- ③ 天井付近など熱がこもる場所など、周囲温度が高いところへの設置はお控えください。
- ④ 強い衝撃や振動が加わらない場所に設置してください。
- ⑤ 縦長で使用する場合は、入出力端子 [19] が下側になるように設置してください。
- ⑥ 本機とお手持ちの外部機器とを接続するケーブルは、できるだけ短くしてください。長いほどノイズの影響を受け、画質が劣化する場合があります。

【横長で使用する場合】



【縦長で使用する場合】



⚠ 注意

本機の据え付けには性能および安全性を維持するために、必ず別売りの専用のオプションユニットをご使用ください。別の取り付け強度が不足する部材を使用すると、転倒したり落下して火災・感電・けがの原因となります。

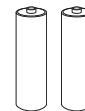
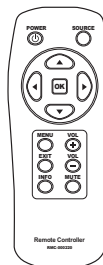
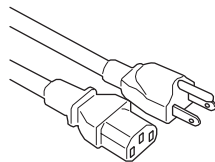
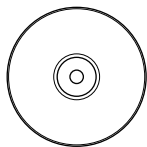
⚠ 注意

通風孔をふさがないように据え付けてください。
通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

クイックスタートガイド

1 付属品

取扱説明書 (CD-ROM)…1 枚 電源コード (3 芯)…1 本 リモコン送信機…1 台 単 4 乾電池…2 本

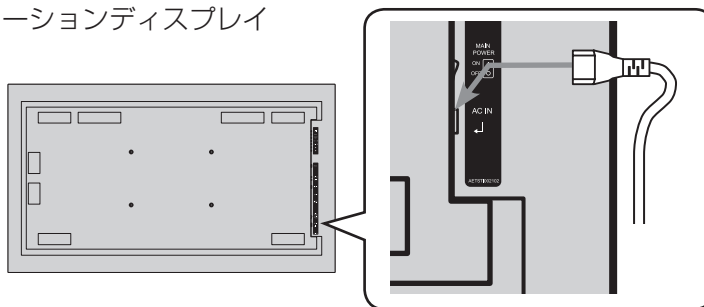


保証書…1 冊

●電源コードは、必ず付属品をお使いください。

2 接続 20 ~ 22

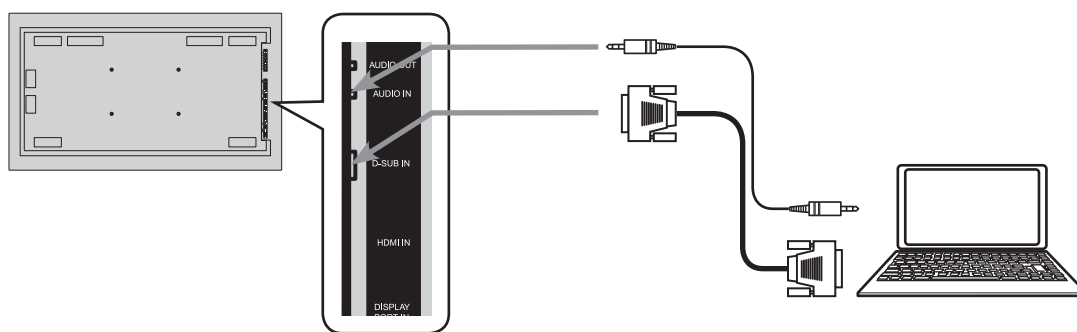
①電源コードをインフォメーションディスプレイに接続する。



②外部機器を接続する。

(例 1) PC (パソコン) との接続の場合

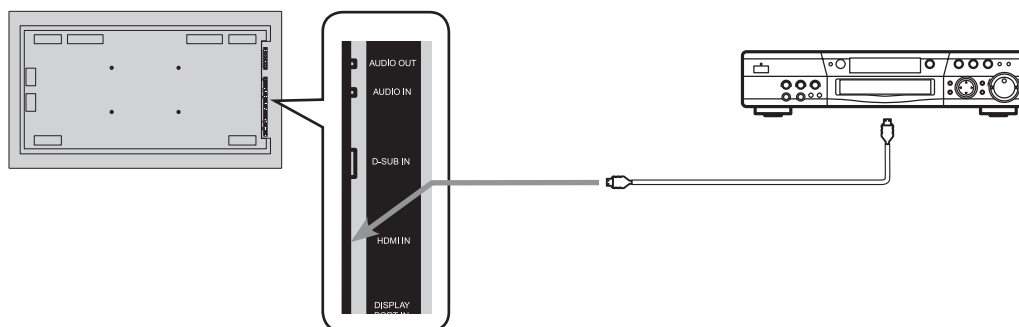
ミニ D-Sub 15 ピン RGB 接続コードを接続します。端子は本体後面左側部にあります。



* 接続ケーブルの取り外しを容易に行うには、オプションのミニ D-Sub 15 ピン延長コードのご使用をおすすめします。

(例 2) DVD プレイヤーとの接続の場合

HDMI ケーブルを接続します。



クイックスタートガイド (つづき)

2 接続 20 ~ 22 (つづき)

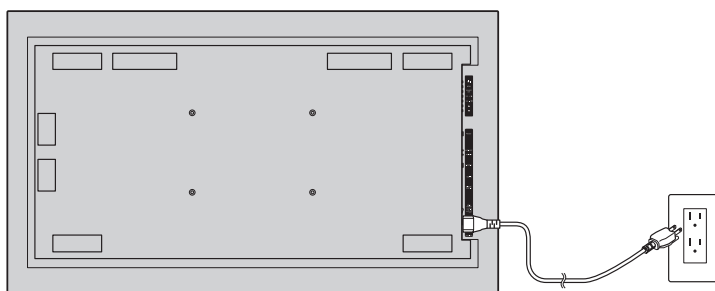
③インフォメーションディスプレイの電源プラグをコンセントに差し込む。

⚠ 警告

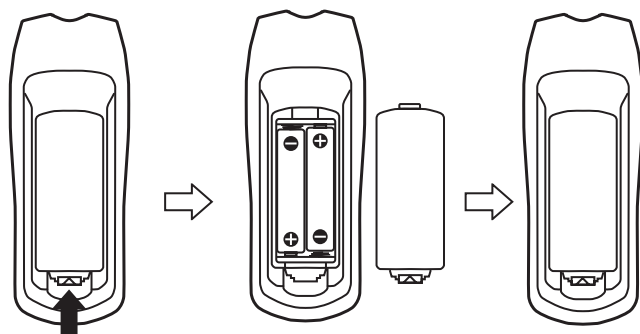
指定の電源電圧でご使用ください。指定された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください。



3 リモコンの電池ふたをはずし、乾電池を入れる 19

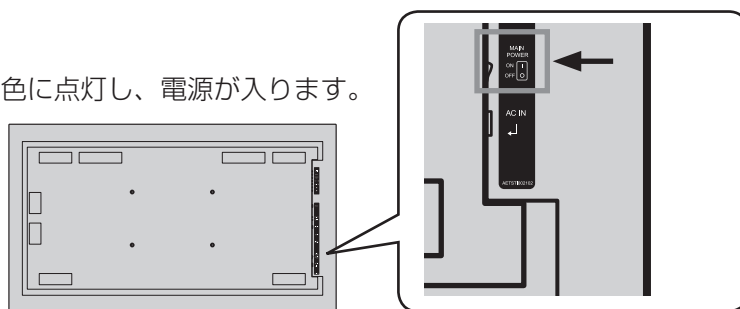


4 電源を入れる 23

電源ボタンを押す。

●本体のスタンバイ / 受像ランプが青色に点灯し、電源が入ります。

電源スイッチ
本体後面の右側



5 言語を選択する

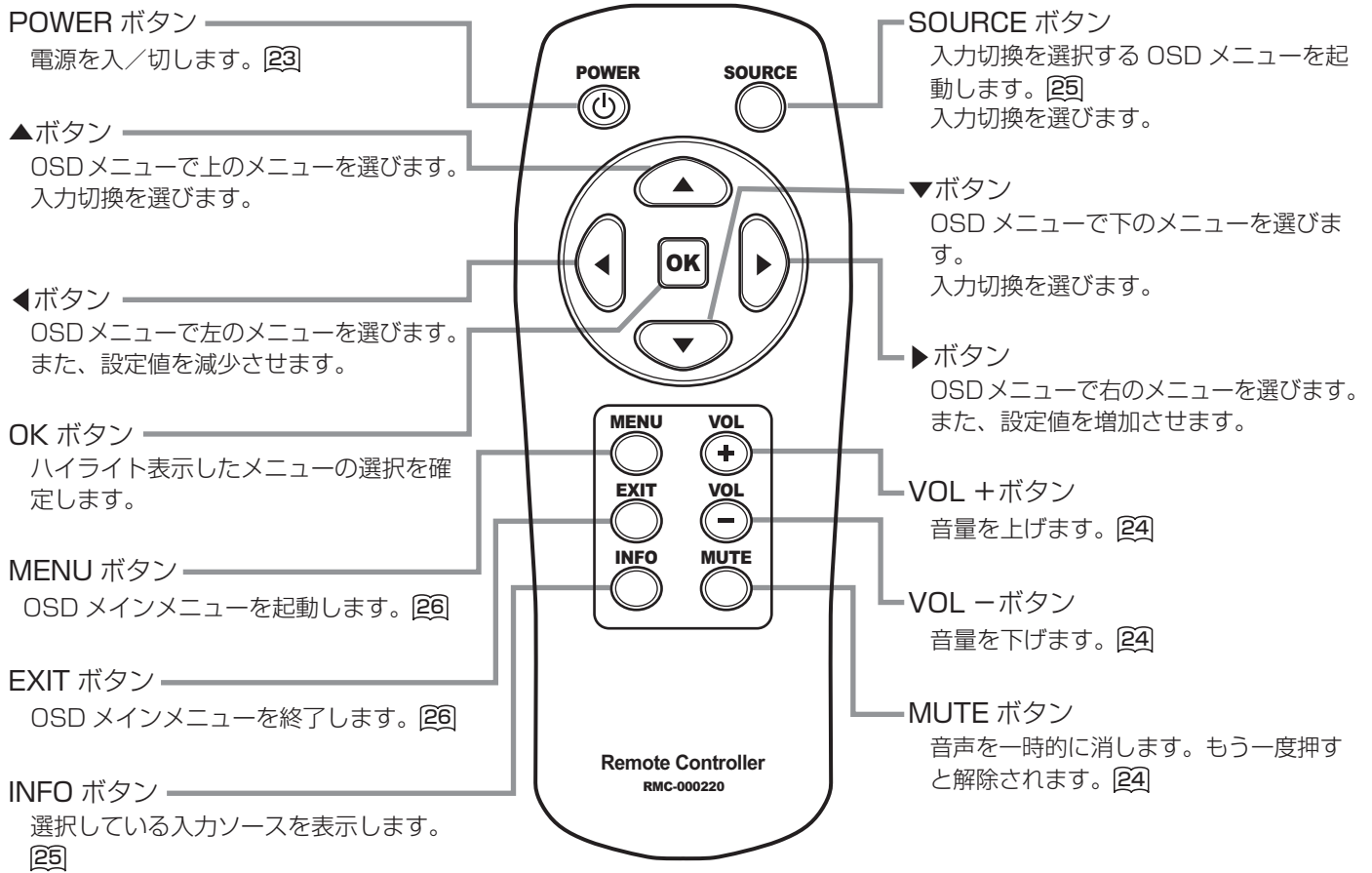
メニューの「言語」は、お買い上げ時は日本語に設定されています。

- ①メニューボタンを押す。
- ②▲▼で「本体設定」を選び、決定ボタン (OK) を押す。
- ③▲▼で「言語」を選び、決定ボタン (OK) を押す。
- ④◀▶で設定したい言語を選び、決定ボタン (OK) を押す。



各部のなまえ

リモコン

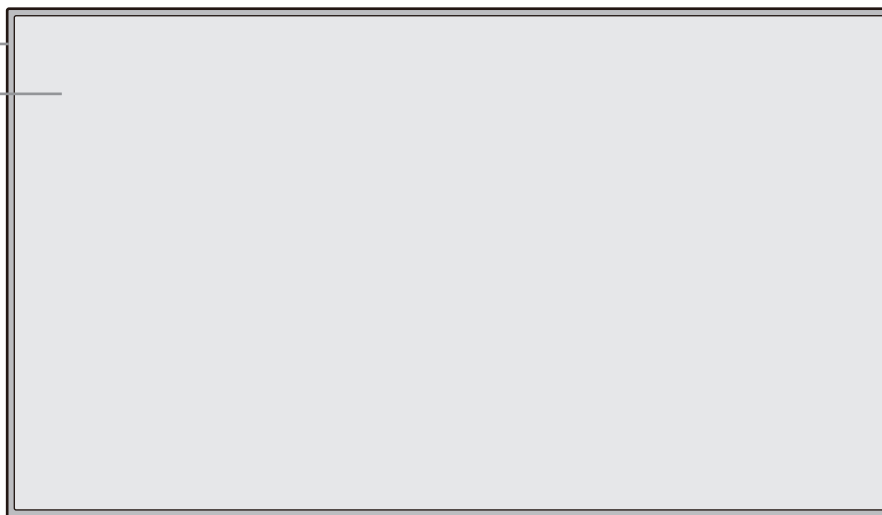


各部のなまえ (つづき)

本体前面

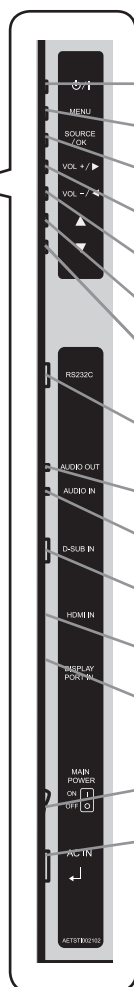
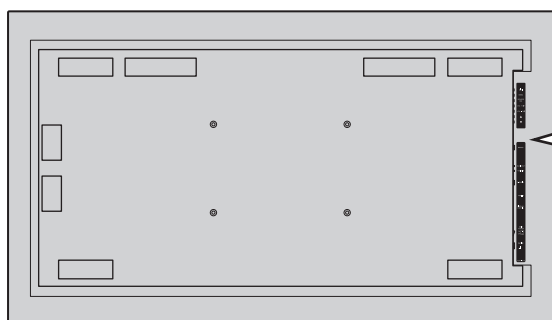
①本体

②パネル



本体側面

● 後面から見て右側面



①電源ボタン

② MENU ボタン

③ SOURCE/OK ボタン

④ 音量アップ/カーソル▶ボタン

⑤ 音量ダウン/カーソル◀ボタン

⑥カーソル▲ボタン

⑦カーソル▼ボタン

⑧ RS-232C 端子

⑨ 音声出力端子

⑩ 音声入力端子

⑪ D-SUB 入力端子

⑫ HDMI 端子

⑬ DISPLAY PORT 端子

⑭電源スイッチ

⑮電源端子

● 前面から見て左側面

①スタンバイ / 受像ランプ

②リモコン受信窓



準備

リモコンの取り扱い

1. 電池ぶたをはずす

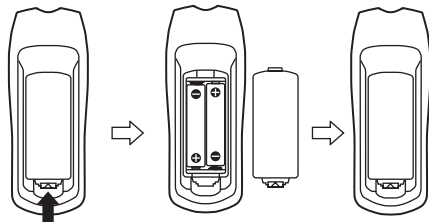
矢印の方向に押しながら開けます。

2. 電池を入れる

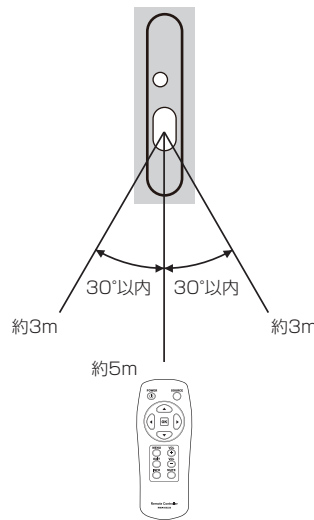
付属の単4形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。

3. 電池ぶたを閉める

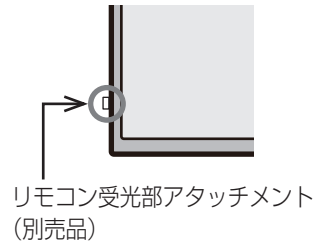
電池ぶたを戻します。



本体左側面



本体前面からリモコンを操作する場合は、リモコン受光部アタッチメント（別売品）を取付けることをおすすめします。



- リモコンは、インフォメーションディスプレイ本体のリモコン受信窓に向けて操作します。
- リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約5メートル、左右30度、上下30度から約3mの範囲内でお使いください。

⚠ 注意

乾電池の使用上のご注意

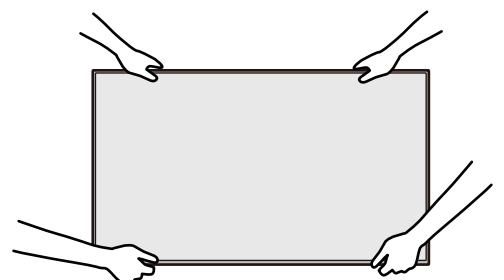
- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示通り正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お守りください リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなった場合は、乾電池を交換してください。
乾電池を入れる前に、乾布などで電池端子部をきれいにふいてください。端子部が汚れていると、接触不良のために正常に動作しないことがあります。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにインフォメーションディスプレイの向きを変えてください。
- 電子レンジなどの加熱調理器に、リモコン送信機・乾電池を入れて加熱しないでください。発熱により火災・故障の原因になります。
- ふた無しで使用すると、金属物などで乾電池がショートし発熱、液もれ、破裂などさせるおそれがありますので、必ずふたを閉めてご使用ください。

移動するときのご注意

- 移動するときは、二人作業で持ち運びしてください。
- 移動する際は、本機を垂直にまっすぐ立てたままにして移動してください。
- 本機の下部をつかむ際は、本機の角部を持たないでください。



接続

お守りください

接続時のご注意

- 他の機器と組み合わせてご使用になるときはそれぞれの取扱説明書をよくお読みください。
- 接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。

1. インフォメーションディスプレイに電源コードを接続する

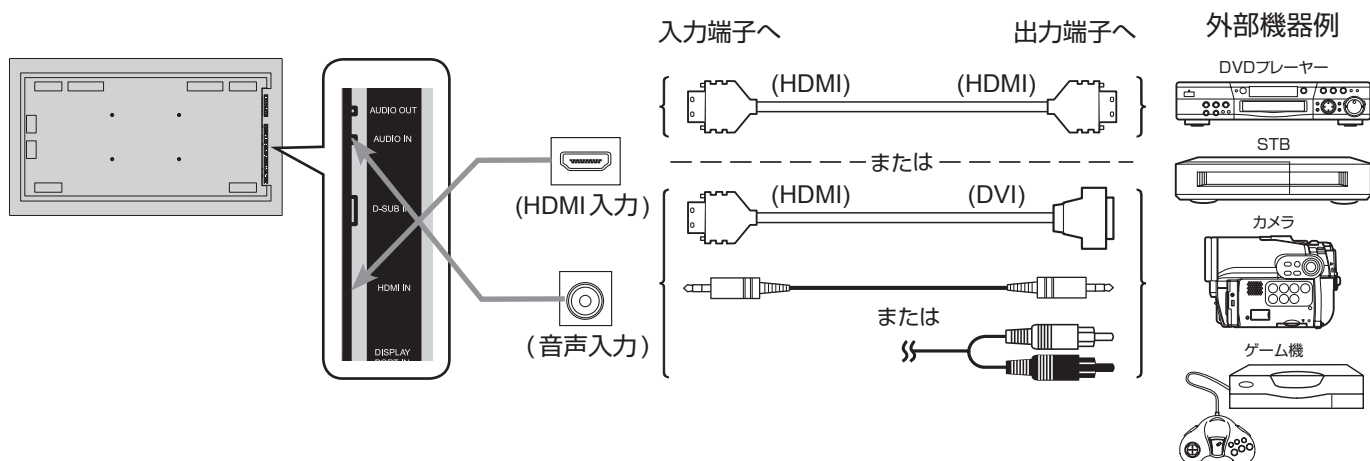
すべての接続が完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
必ず付属の電源コードを使用し、それ以外の電源コードは使用しないでください。

2. お手持ちの機器と接続する

HDMI 出力対応機器と接続する

本機は、HDMI または DVI 出力対応機器との接続ができます。

DVI 出力対応機器は HDMI-DVI ケーブルを使用して接続ができます。この時、アナログ音声信号は音声入力端子に接続してください。



お知らせ

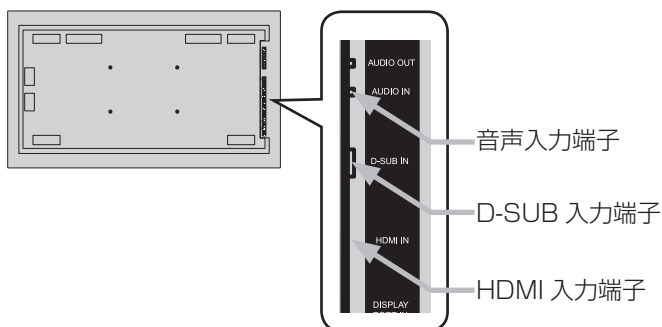
- HDMI 規格に適合していないケーブルは使用できません。HDMI ロゴの表示があるケーブルを使用してください。
- 1125p (1080p) の映像信号を入力する場合は、カテゴリ 2 (HIGH SPEED) 対応品をご使用ください。
- 出力する機器側の信号切り換えや操作により画面や音声にノイズが入る場合がありますが、故障ではありません。
- 対応する信号については [46](#) を参照してください。

メモ

アナログ音声入力信号について

音声入力端子 (アナログ) は、以下のいずれかの場合に使用できます。

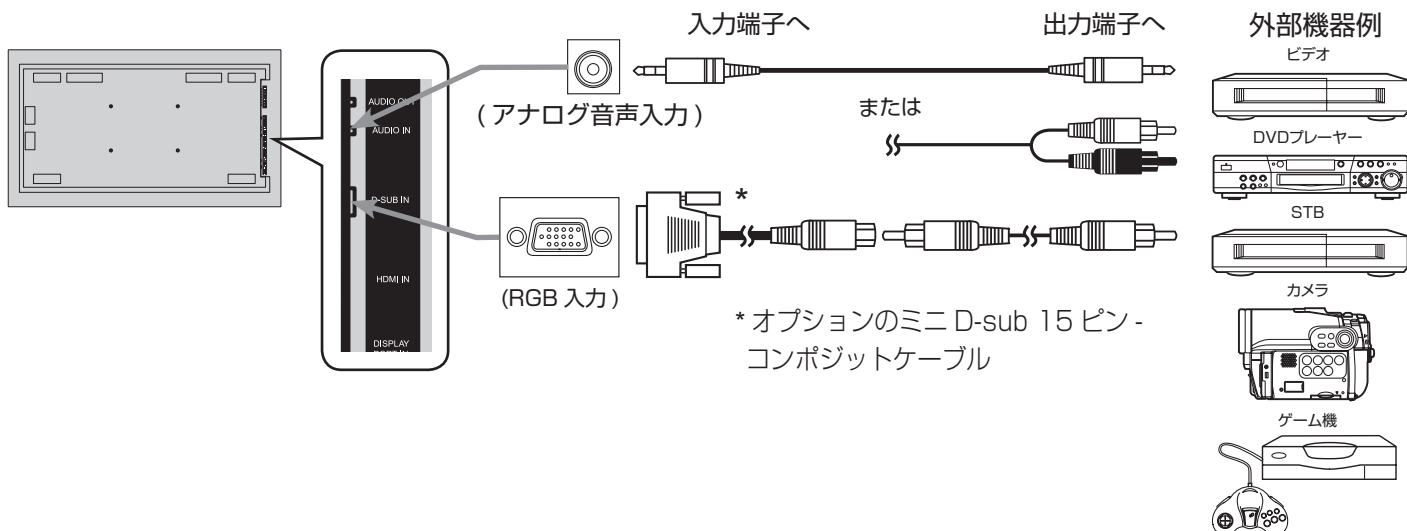
- ① D-SUB 入力端子に PC (パソコン) を接続する場合。
- ② HDMI 入力端子に DVI 出力対応機器を接続する場合。



接続 (つづき)

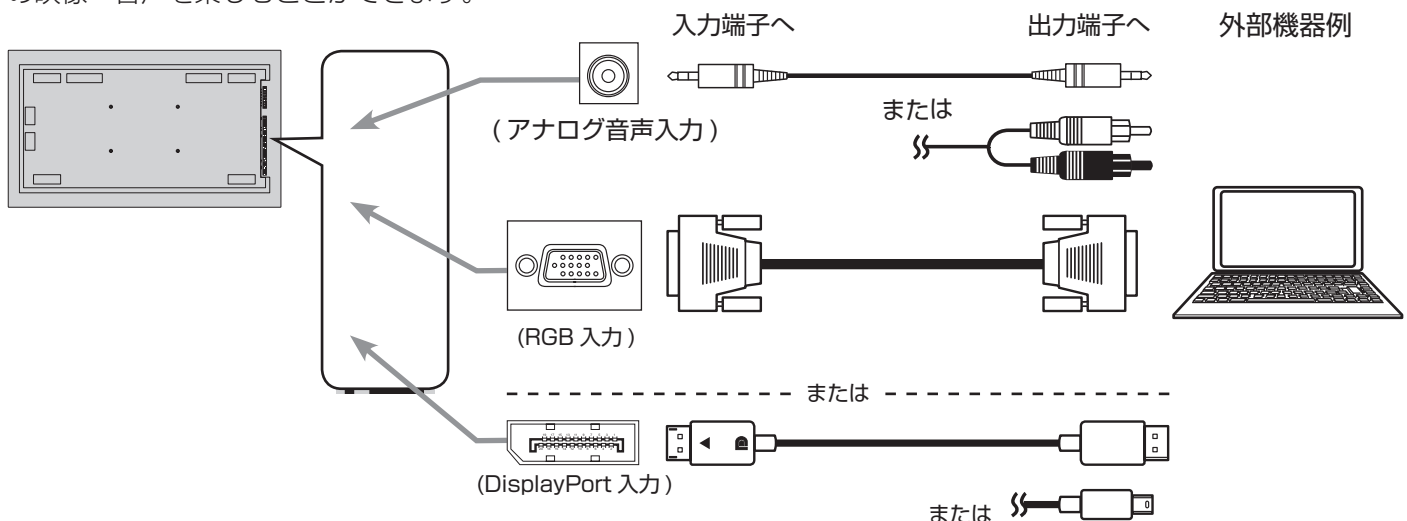
ビデオ出力端子付き機器と接続する

オプションのミニ D-sub 15 ピン - コンポジットケーブルを使用することにより、ビデオ出力端子付機器と接続することができます。



PC (パソコン) と接続する

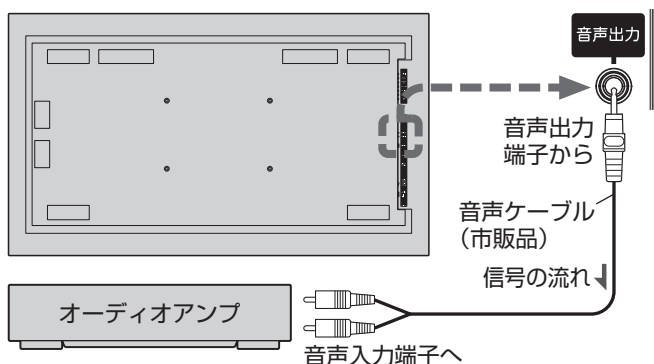
本機の D-SUB 入力端子と音声入力端子、または DisplayPort に PC (パソコン) を接続することにより、PC (パソコン) の映像・音声を楽しむことができます。



アナログ音声入力対応のオーディオ機器と接続する

音声出力端子からは、画面に映っている番組などの音声が出力されます。

例：オーディオアンプとの接続



お知らせ

音声出力端子から出力される音声レベルは、音量調節に連動して変化します。オーディオアンプに接続される場合は、本機の音量調節で音が歪まない音量レベルに設定したあと、オーディオアンプ側で音量を調節してください。

メモ

オーディオアンプなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

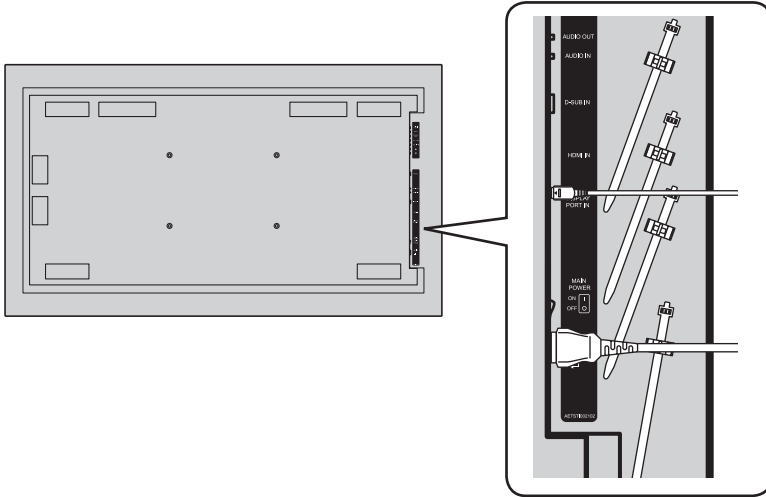
⚠ 注意 ヘッドホン使用時の注意

● 耳を刺激するような大音量で長時間続けてヘッドホンを使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

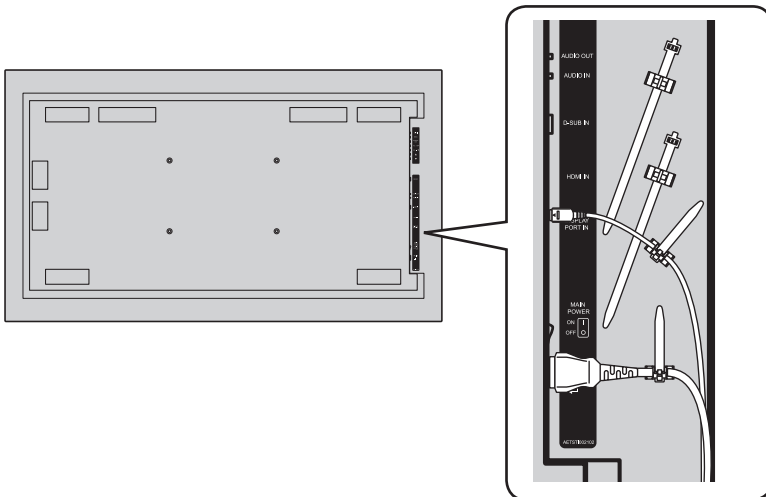
接続 (つづき)

3. ケーブル用クランプの取り付け

電源コード、信号ケーブルを本機に接続します。



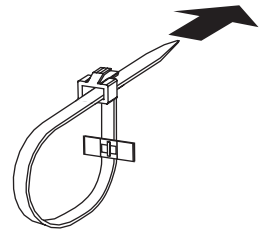
ケーブル用クランプを締め、しっかりとコード、ケーブルなどを固定してください。



ケーブル用クランプの留めかた

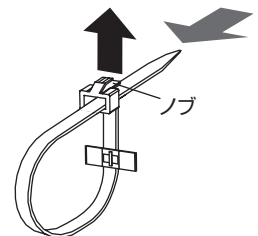
留める

矢印の方向にひっぱる

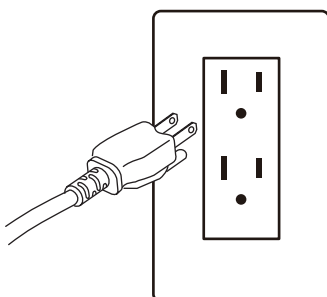


はずす

ノブを矢印の方向に押し上げながら先端を押し



4. 電源プラグをコンセントに差し込む





⚠ 注意

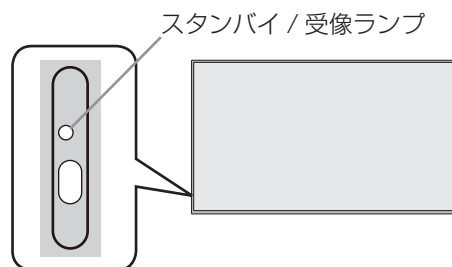
- 電源コードは、必ず付属品をご使用ください。
- 指定の電源電圧でご使用ください。指定された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください。本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

基本操作

電源を入れる / 切る

電源を入れる：

1. ディスプレイ本体の電源スイッチを入れます。
 - スタンバイ / 受像ランプが青色に点灯し電源が入ります。
2. スタンバイ / 受像ランプが赤く点灯しているときは、リモコンの電源ボタン () または電源ボタン () を押すと電源が入ります。





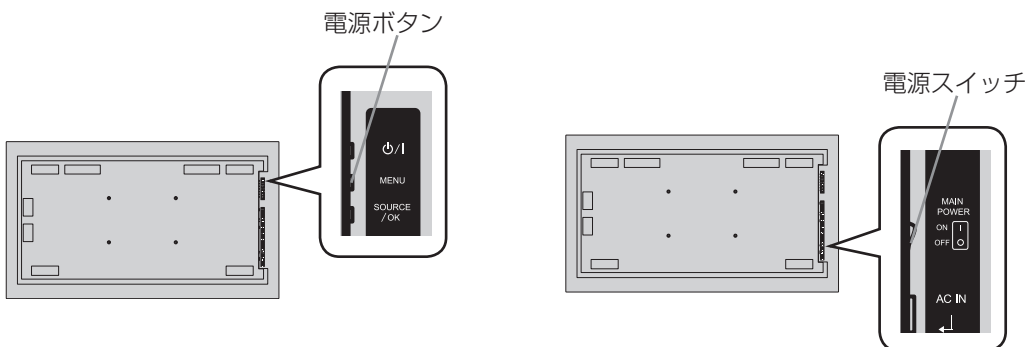
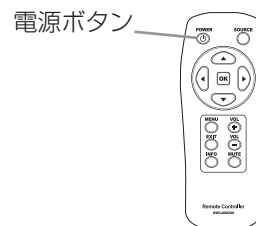
お知らせ

本体電源スイッチで電源オンした場合、出画されるまでの間に、AUDIO OUT 端子からノイズ音が発生する場合があります。


接続しているオーディオ機器の電源を入れるタイミングやミュート機能などで対応をお願い致します。

電源を切る：


1. リモコンの電源ボタン () または電源切ボタン () を押します。
 - スタンバイ / 受像ランプが赤色に点灯し、電源が切れます。
2. ディスプレイ本体の電源スイッチを「切」にしても、電源を「切」にできます。



スタンバイ / 受像ランプの状態と電源状態

スタンバイ / 受像ランプ	電源状態	お知らせ
オフ	オフ	-
赤	スタンバイ	-
青	オン	-
赤 / 青 交互点灯	DPMS モード	 参照

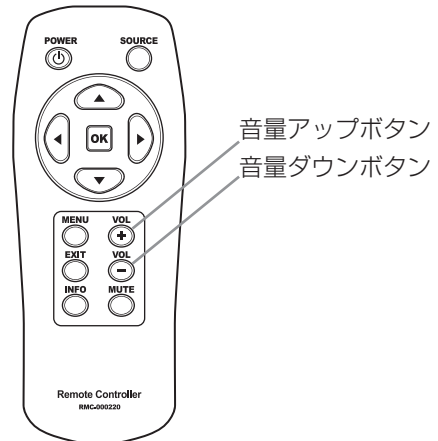
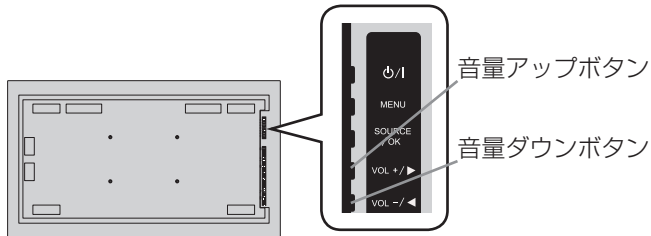
お知らせ

- 映像が出ないなどの異常がある場合は、「故障かな?と思ったら」を参照してください。 
- インフォメーションディスプレイが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。インフォメーションディスプレイから離れるときは、本体の電源スイッチを「切」にしておいてください。

基本操作（つづき）

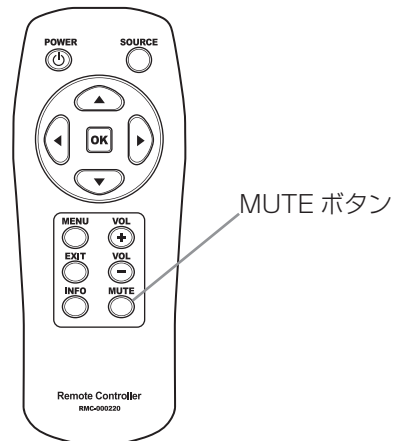
音量を上げる / 下げる

1. 本体またはリモコンの音量アップボタンを押すと、音量が上がります。
2. 本体またはリモコンの音量ダウンボタンを押すと、音量が下がります。



音を消す

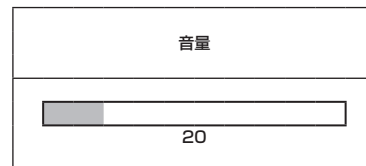
1. リモコンのミュートボタンを押すと、音が消えます。
2. もう一度ミュートボタンを押すと、もとの音量に戻ります。



メモ

消音にしたままでも、音量ダウンボタンを押すことにより音量の設定を変えることができます。

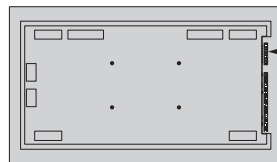
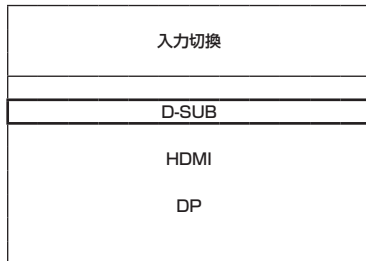
音を出すときは、もう一度ミュートボタンを押すか、音量アップボタンを押してください。



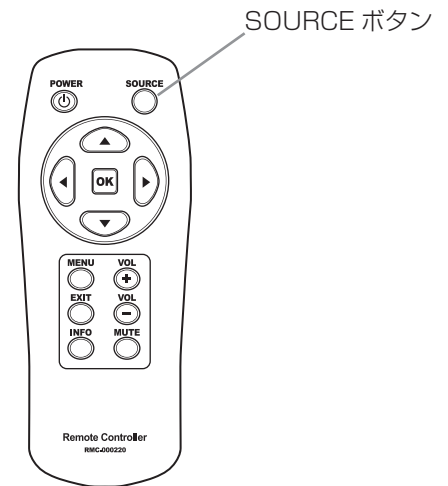
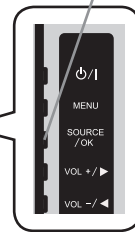
基本操作（つづき）

入力切換

本体またはリモコンの SOURCE ボタンを押すと、D-SUB、HDMI、DISPLAY PORT 入力を切り換えることができます。



SOURCE/OK ボタン

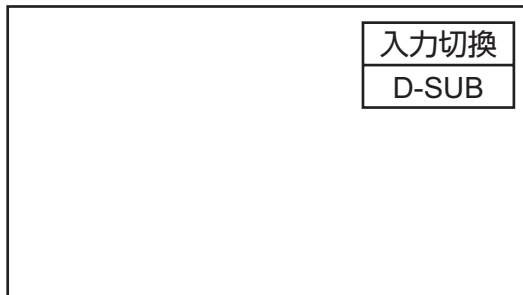


入力信号画面表示

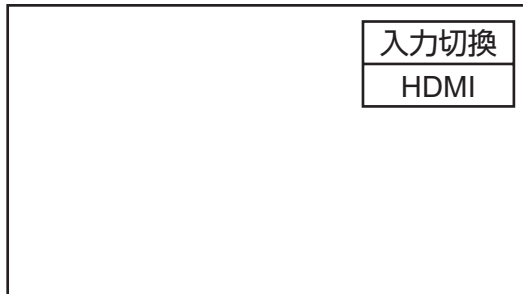
入力信号状態は、リモコンの INFO ボタンを押すと画面に表示できます。

●表示は約 6 秒間表示します。

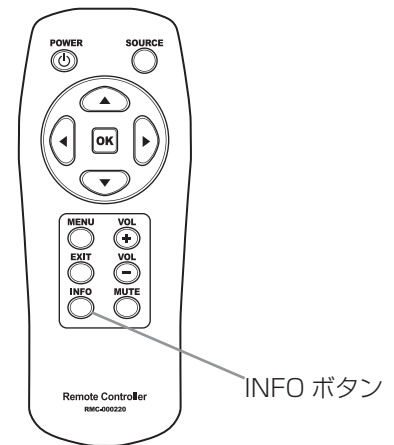
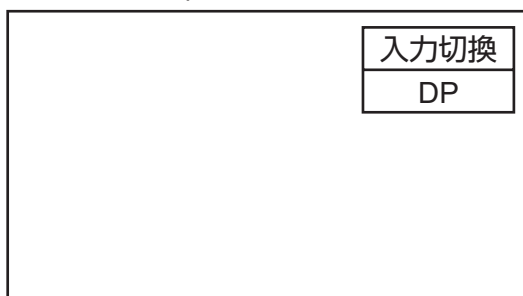
D-SUB モード



HDMI モード



DISPLAY PORT モード



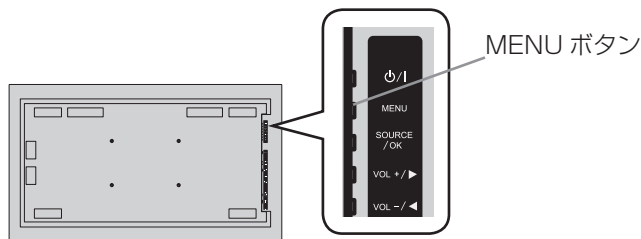
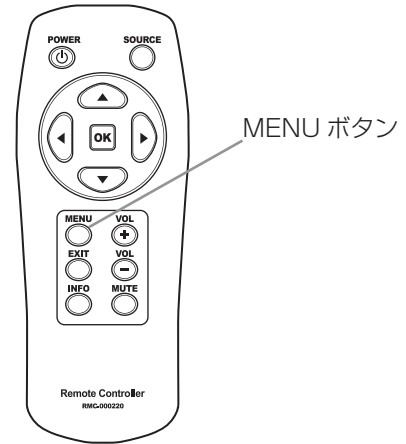
設置設定

メニュー機能の使いかた

MENUボタン押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使って各機能の設定ができます。

基本操作

1. 本体の MENU ボタンまたはリモコンの MENU ボタンを押す。
2. ▲▼でアイコン（項目）を選ぶ。
選択されたアイコンは赤色枠で表示されます。
OK ボタンを押す。
3. ▲▼で設定したい項目を選び、OK ボタンを押す。
4. ◀▶または▲▼で設定または調節し、設定が終了したら OK ボタンを押す。
5. EXIT ボタンを押して、メニューを消す。



メモ

- メニュー表示は何も操作しないときは約 20 秒で消えます。OSD の表示時間は OSD 設定メニュー「表示時間」で変更できます。
- メニュー項目がグレー色になっている場合は、設定または調節ができません。
- メニュー表示中に MENU ボタンを押すと、一つ前のメニューに戻ることができます。

メニューアイコン

アイコン	メインメニュー	内容
	映像調整	映像に関する調整を行います。
	画面調整	画面のサイズ・位置の調整を行います。 ※ D-SUB 入力を選択されているときに限ります。
	色調整	色温度／ユーザーカラーの調整を行います。
	OSD 設定	OSD メニューの設定を行います。
	本体設定	ディスプレイ本体に関する設定を行います。

設置設定 (つづき)

メインメニューリスト

メニュー			ページ
映像調整	黒レベル	映像の黒レベルを調整します。	28
	コントラスト	映像の明るさを調整します。	28
	ガンマ	ガンマ値 (2.2 / 2.4) を選択します。	28
	バックライト	画面のバックライトの明るさを調整します。	28
	シャープネス	映像の画質を選択します。	28
画面調整	フェーズ	D-SUB 端子から入力された信号の取り込みタイミングを変更します。	29
	クロック	D-SUB 端子から入力された信号の取り込みタイミングを変更します。	29
	水平位置	画像の水平サイズを調整します。	29
	垂直位置	画像の垂直サイズを調整します。	29
	自動調節	画像の垂直・水平位置自動調節をする / しないを選択します。	29
色調整	色温度	画面の色温度調整を選択します。	30
	赤	色温度の赤色を調整します。	30
	緑	色温度の緑色を調整します。	30
	青	色温度の青色を調整します。	30
OSD設定	水平位置	OSD メニュー画面の左右の位置を調整します。	31
	垂直位置	OSD メニュー画面の上下の位置を調整します。	31
	透明度	OSD メニューの透明度を設定します。	31
	表示時間	OSD メニューの表示時間を設定します。	31
本体設定	言語	OSD メニューの言語 (日本語 / 英語) を選択します。	32
	画面サイズ	画面サイズ (フルサイズ / ノーマル) を選択します。	32
	リセット	ユーザー設定値を初期設定にリセットします。	32
	セットID	RS-232C通信のセットに割り当てるIDを設定します。	32
	DPMS	DPMSモードのオン / オフを選択します。	32

設置設定 (つづき)


映像調整

黒レベル、コントラストなどの映像を調整することができます。
メニューの「映像調整」を選びます。

映像調整
黒レベル コントラスト ガンマ バックライト シャープネス


映像調整

黒レベル : 画面の黒レベルを調整します。
コントラスト : 画面のコントラストを調整します。
ガンマ : 画面のガンマ値を調整します。
バックライト : 画面のバックライトを調整します。
シャープネス : 画像細部の鮮明度を調整します。

映像調整
黒レベル 70


黒レベル

映像信号の黒情報に合わせて表示の黒のレベルを調整します。

映像調整
コントラスト 70



コントラスト

画面上の画像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。

映像調整
ガンマ
22
24

ガンマ

ガンマ 2.2 と 2.4 を選択できます。

映像調整
バックライト 100


バックライト

画面のバックライトの明るさを調整します。

⚠ 注意

24 時間稼動する場合は、バックライトの設定は初期値のままでご使用ください。

映像調整
シャープネス
オフ
弱
中
強
最強

シャープネス

鮮明度を選択します。
(オフ、弱、中、強、最強)


設置設定 (つづき)

画面調整


D-SUB 入力の画面位置などを調整することができます。
メニューの「画面調整」を選びます。画面調整は D-SUB 入力を選択されているときのみ操作できます。

画面調整
フェーズ クロック 水平位置 垂直位置 自動調節


画面調整
希望項目を選択します。
(フェーズ、クロック、水平位置、垂直位置、自動調節)

画面調整
フェーズ 56



フェーズ
D-SUB 端子から入力された信号の取り込みタイミングを変更します。
映像がチラつくとき、変更することで改善できる場合があります。

画面調整
クロック 50


クロック
D-SUB 端子から入力された信号の取り込みタイミングを変更します。
映像がチラつくとき、変更することで改善できる場合があります。

画面調整
水平位置 50


水平位置
画像の水平サイズを調整することができます。

画面調整
垂直位置 50


垂直位置
画像の垂直サイズを調整することができます。

画面調整
自動調節
しない
する

自動調節
「する」を選択すると画像の垂直・水平位置を自動で調節することができます。
●本機能は画面全体に映像が表示されているときにご使用ください。
画面の一部が表示されていない映像では正常な調整が行えません。

設置設定 (つづき)

色調整


映像の色温度を調整します。
メニューの「色調整」を選びます。

色調整
色温度
赤
緑
青


色調整
色温度：画面の色温度を調整します。
赤：赤の調整を行います。
緑：緑の調整を行います。
青：青の調整を行います。

色調整	
色温度	
5000K	6500K
7500K	8500K
9300K	10000K
sRGB	ユーザー設定


色温度
5000K、6500K、7500K、8500K、9300K、10000K、sRGB、ユーザー設定から選びます。
●色温度選択の表示名は目安です。その色温度を保証するものではありません。

色調整	
赤	50
	

赤
色温度の赤色濃度を調整します。
●「色温度」で「ユーザー設定」を選んだときに調整することができます。

色調整	
緑	50
	

緑
色温度の緑色濃度を調整します。
●「色温度」で「ユーザー設定」を選んだときに調整することができます。

色調整	
青	50
	

青
色温度の青色濃度を調整します。
●「色温度」で「ユーザー設定」を選んだときに調整することができます。

設置設定 (つづき)

OSD 設定

OSD の表示位置などを設定することができます。
メニューの「OSD 設定」を選びます。

OSD 設定
水平位置
垂直位置
透明度
表示時間

OSD 設定

水平位置：画面の水平位置を調整します。

垂直位置：画面の垂直位置を調整します。

透明度：OSD メニューの透明度を設定します。

表示時間：OSD がディスプレイに表示されてから消えるまでの秒数を設定します。

OSD 設定
水平位置 50
<input type="range" value="50"/>

水平位置

OSD メニュー画面の左右の位置を調整します。

OSD 設定
垂直位置 50
<input type="range" value="50"/>

垂直位置

OSD メニュー画面の上下の位置を調整します。

OSD 設定
透明度 0
<input type="range" value="0"/>

透明度

OSD メニューの透明度を設定します。

OSD 設定
表示時間 20
<input type="range" value="20"/>

表示時間

OSD メニューの画面上での表示時間を設定します。

最小時間は約 5 秒、最大時間は約 60 秒まで設定できます。

設置設定 (つづき)

本体設定

メニューの言語などを設定することができます。
メニューの「本体設定」を選びます。

本体設定
言語 画面サイズ リセット セット ID
DPMS モード

本体設定

言語：日本語 / English

画面サイズ：フルサイズ / ノーマル

リセット：すべての設定を初期化します。

セット ID：(RS232C 制御用の) ID を設定します。

DPMS (Display Power Management Signaling) モード：ディスプレイの消費電力を削減するための規格です。

本体設定
言語
<input type="radio"/> 日本語 <input type="radio"/> ENGLISH

言語

OSD メニューの言語を選びます。

対応する言語は日本語と英語です。

本体設定
画面サイズ
<input type="radio"/> フルサイズ <input type="radio"/> ノーマル

画面サイズ

16: 9 (フルサイズ) と 4: 3 (ノーマル) からアスペクト比を選びます。

本体設定
リセット
<input type="radio"/> しない <input type="radio"/> する

リセット

ユーザー設定値を初期設定にリセットします。

本体設定
セット ID 0
<input type="text"/>

セット ID

RS-232C 通信のセットに割り当てる数字を設定します。[34]

0 ~ 99 の範囲で割り当てることができます。

本体設定
DPMS モード
<input type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ

DPMS モード

オン時：入力信号が消失した場合、パネル電源、ディスプレイ内部回路の一部の電源をオフし、待機状態 (DPMS モード) に移行します。

再び映像信号が入力されると、再度出画します。

オフ時：入力信号が消失した場合、約 15 分の後、スタンバイ状態へ移行します。

● DPMS モード中はスタンバイ / 受像ランプが赤・青交互に点灯します。

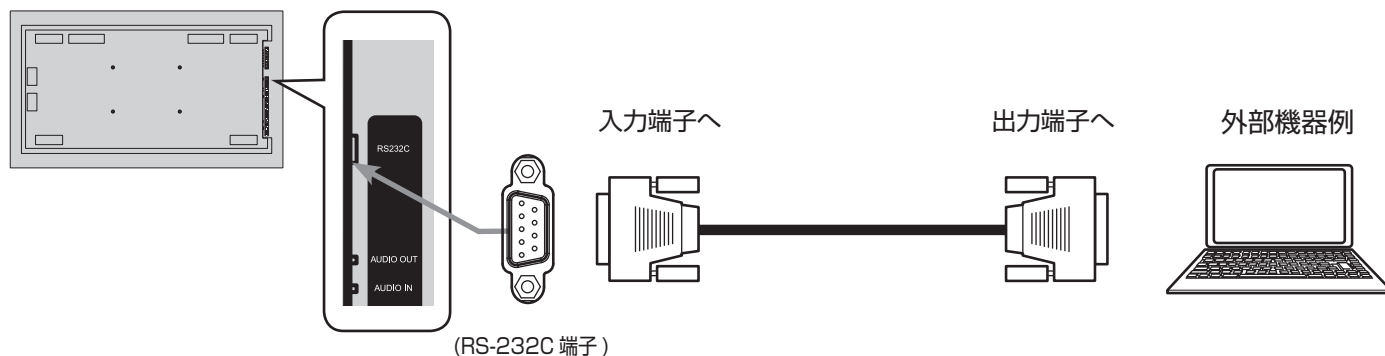
PC (パソコン) で本機を制御する (RS-232C)

本機の RS-232C 端子に PC (パソコン) など外部制御装置を接続し、その外部制御装置から制御データを送信することにより、本機の基本的な操作を行うことができます。

接続のしかた

本機の RS-232C 端子と PC (パソコン) の COM ポート (RS-232C コネクター) を RS-232C ケーブル (ストレート) で接続します。

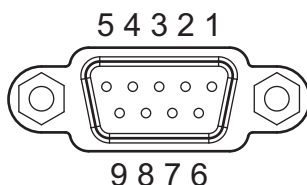
RS-232C ケーブルは、D-SUB 9 ピン オス-メス ストレートケーブル (ロック : オス / メスともネジタイプ) をご使用ください。



接続端子

RS-232C 端子 ピン配置

ピン No.	入出力信号
1	DCD
2	RXD
3	TXD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	RI



通信仕様

項目	仕様
ビットレート	19,200bps
転送データフォーマット	●データビット 8bit
	●ストップビット 1bit
	●パリティビット なし
フロー制御	なし

PC(パソコン)で本機を制御する(RS-232C) (つづき)

コマンド一覧

セット ID 番号が "00" のときはすべてのディスプレイが操作できます。

■ RS-232C 通信コマンド

Function		SEND DATA							
		MAGIC CODE	LENGTH	セット ID	CMD TYPE	CMD CODE	CMD VALUE	CHECK SUM	FULL CMD(h)
リモコン	電源オフ(スタンバイ)	beh	07h	00 ~ 63h	73h	00h	00h	1dh	be,07,00,73,00,00,1d
	電源オン	beh	07h	00 ~ 63h	73h	00h	01h	1dh	be,07,00,73,00,01,1d
	MENU	beh	07h	00 ~ 63h	73h	01h	00h	1dh	be,07,00,73,01,00,1d
	SOURCE	beh	07h	00 ~ 63h	73h	02h	00h	1dh	be,07,00,73,02,00,1d
	▲	beh	07h	00 ~ 63h	73h	03h	00h	1dh	be,07,00,73,03,00,1d
	▼	beh	07h	00 ~ 63h	73h	04h	00h	1dh	be,07,00,73,04,00,1d
	◀	beh	07h	00 ~ 63h	73h	05h	00h	1dh	be,07,00,73,05,00,1d
	▶	beh	07h	00 ~ 63h	73h	06h	00h	1dh	be,07,00,73,06,00,1d
	OSD ロックオン	beh	07h	00 ~ 63h	73h	07h	00h	1dh	be,07,00,73,07,00,1d
	OSD ロックオフ	beh	07h	00 ~ 63h	73h	07h	01h	1dh	be,07,00,73,07,01,1d
	INFO	beh	07h	00 ~ 63h	73h	20h	00h	1dh	be,07,00,73,20,00,1d
EXIT	beh	07h	00 ~ 63h	73h	12h	00h	1dh	be,07,00,73,12,00,1d	
入力切換	D-SUB	beh	07h	00 ~ 63h	73h	21h	00h	1dh	be,07,00,73,21,00,1d
	HDMI	beh	07h	00 ~ 63h	73h	21h	01h	1dh	be,07,00,73,21,01,1d
	DP	beh	07h	00 ~ 63h	73h	21h	02h	1dh	be,07,00,73,21,02,1d
映像調整	黒レベル	beh	07h	00 ~ 63h	73h	30h	00 ~ 64h	1dh	be,07,00,73,30,00 ~ 64,1d
	コントラスト	beh	07h	00 ~ 63h	73h	31h	00 ~ 64h	1dh	be,07,00,73,31,00 ~ 64,1d
	バックライト	beh	07h	00 ~ 63h	73h	37h	00 ~ 64h	1dh	be,07,00,73,37,00 ~ 64,1d
	ガンマ 2.2	beh	07h	00 ~ 63h	73h	38h	00h	1dh	be,07,00,73,38,00,1d
	ガンマ 2.4	beh	07h	00 ~ 63h	73h	38h	01h	1dh	be,07,00,73,38,01,1d
	シャープネス オフ	beh	07h	00 ~ 63h	73h	39h	00h	1dh	be,07,00,73,39,00,1d
	シャープネス 弱	beh	07h	00 ~ 63h	73h	39h	01h	1dh	be,07,00,73,39,01,1d
	シャープネス 中	beh	07h	00 ~ 63h	73h	39h	02h	1dh	be,07,00,73,39,02,1d
	シャープネス 強	beh	07h	00 ~ 63h	73h	39h	03h	1dh	be,07,00,73,39,03,1d
シャープネス 最強	beh	07h	00 ~ 63h	73h	39h	04h	1dh	be,07,00,73,39,04,1d	
色調整	色温度 5000k	beh	07h	00 ~ 63h	73h	36h	00h	1dh	be,07,00,73,36,00,1d
	色温度 6500K	beh	07h	00 ~ 63h	73h	36h	01h	1dh	be,07,00,73,36,01,1d
	色温度 7500K	beh	07h	00 ~ 63h	73h	36h	02h	1dh	be,07,00,73,36,02,1d
	色温度 8500K	beh	07h	00 ~ 63h	73h	36h	03h	1dh	be,07,00,73,36,03,1d
	色温度 9300K	beh	07h	00 ~ 63h	73h	36h	04h	1dh	be,07,00,73,36,04,1d
	色温度 10000K	beh	07h	00 ~ 63h	73h	36h	05h	1dh	be,07,00,73,36,05,1d
	色温度 sRGB	beh	07h	00 ~ 63h	73h	36h	06h	1dh	be,07,00,73,36,06,1d
	色温度 ユーザー	beh	07h	00 ~ 63h	73h	36h	07h	1dh	be,07,00,73,36,07,1d
	ユーザー 赤	beh	07h	00 ~ 63h	73h	32h	00 ~ 64h	1dh	be,07,00,73,32,00 ~ 64,1d
	ユーザー 緑	beh	07h	00 ~ 63h	73h	33h	00 ~ 64h	1dh	be,07,00,73,33,00 ~ 64,1d
ユーザー 青	beh	07h	00 ~ 63h	73h	34h	00 ~ 64h	1dh	be,07,00,73,34,00 ~ 64,1d	
本体設定	画面サイズ ノーマル	beh	07h	00 ~ 63h	73h	35h	00h	1dh	be,07,00,73,35,00,1d
	画面サイズ フル	beh	07h	00 ~ 63h	73h	35h	02h	1dh	be,07,00,73,35,02,1d
	言語 英語	beh	07h	00 ~ 63h	73h	23h	00h	1dh	be,07,00,73,23,00,1d
	言語 日本語	beh	07h	00 ~ 63h	73h	23h	01h	1dh	be,07,00,73,23,01,1d
	自動調節	beh	07h	00 ~ 63h	73h	26h	00h	1dh	be,07,00,73,26,00,1d
その他	ミュート オン	beh	07h	00 ~ 63h	73h	24h	01h	1dh	be,07,00,73,24,01,1d
	ミュート オフ	beh	07h	00 ~ 63h	73h	24h	00h	1dh	be,07,00,73,24,00,1d
	音量	beh	07h	00 ~ 63h	73h	25h	00 ~ 64h	1dh	be,07,00,73,25,00 ~ 64,1d

故障かな？と思ったら

症状に応じて以下の確認を行ってください。症状が改善されない場合は、ご自分で修理をなさらず、お買い上げの購入先へご連絡ください。

画面にメッセージが表示されたとき

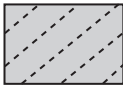

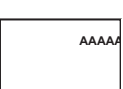

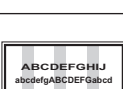
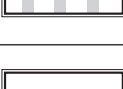
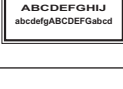
メッセージ	確認内容	参照ページ
信号なし	入力端子からの信号が検出できない状態です。 ●ケーブルが正しく確実に接続されているか確認してください。 ●外部機器の電源が入っていることを確認してください。 ●接続端子と入力選択が合っているか確認してください。 ●PCがパワーセーブモードでないか確認してください。	20 ~ 22 25 32
CANNOT DISPLAY THIS VIDEO	対応していない信号を受信しています。 ●ケーブルが正しく確実に接続されているか確認してください。 ●入力信号が本機で対応している信号に適合しているか確認してください。	20 ~ 22 40

故障かな？と思ったら（つづき）

症状と確認内容

症状	確認内容	参照ページ
映像が出ない、音も出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●スタンバイ / 受像ランプを確認してください。（オフ、赤、青） ●電源コードの挿入を確認してください。 ●本体の電源、外部機器の電源が入っているか確認してください。 ●正しい入力端子が選択されているか確認してください。 	<p>23</p> <p>15, 22</p> <p>23</p> <p>25</p>
音が出ない（映像は出る）	<ul style="list-style-type: none"> ●音量レベルを確認してください。 ●ミュートボタンが押されたかどうか確認してください。 ●外部機器の接続を確認してください。 ●音声ケーブルが本体の音声入力端子とサウンドカードなどの音声出力端子の両方にしっかりと接続されていることを確認してください。 	<p>24</p> <p>24</p> <p>20 ~ 22</p> <p>20, 21</p>
音量が低い	<ul style="list-style-type: none"> ●音量レベルを確認してください。最大値にしても音量が低い場合は、接続しているコンピューターのサウンドカードやソフトウェアプログラムの音量制御を確認してください。 	24
映像が出ない（音は出る）	<ul style="list-style-type: none"> ●映像調整メニューの「黒レベル」「バックライト」の調節レベルを確認してください。 ●外部機器の接続を確認してください。 	<p>28</p> <p>20 ~ 22</p>
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコン送信機の乾電池の寿命がなくなっているときは新しい乾電池と交換してください。 ●乾電池の極性（+ / -）を確認してください。 ●リモコン受信窓の前にある障害物を取り除いてください。 ●本体側の操作ボタンが動作するか確認してください。 ●本体の電源が入っているか確認してください。 ●電源コードがしっかりと接続されているか確認してください。 ●近くで特殊な蛍光灯またはネオンランプを使用していないか確認してください。 	<p>16</p> <p>19</p> <p>18</p> <p>23</p> <p>15, 22</p>
リモコンと本体の操作ボタンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが抜けていないか確認してください。 	15, 22
映像が出ない 受像ランプが消えている	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが抜けていないか確認してください。 ●電源スイッチがオンであることを確認してください。 	<p>15, 22</p> <p>16</p>
映像が出ない（スタンバイ / 受像ランプが赤 / 青交互点灯） （DPMS モード）	<ul style="list-style-type: none"> ●外部機器からのケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ●外部機器の電源が入っているか確認してください。 ●PC がパワーセーブモードでないか確認してください。 	<p>20 ~ 22</p> <p>32</p>
映像が出ない（受像ランプが青色）	<ul style="list-style-type: none"> ●信号ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ●「黒レベル」「バックライト」が低くなっていないか確認してください。 	<p>20 ~ 22</p> <p>28</p>
本体の上部やパネルの表面が熱い	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間使用したときなどに、上部パネル表面が熱くなることがありますが、故障ではありません。 	—
HDMI 入力から映像が出ない Display Port 入力から映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ●推奨信号か確認してください。 ●一部の機器では、正常に動作しないことがあります。 	<p>20 ~ 22</p> <p>40</p>
D-SUB 入力モードのとき映像と音声合わない	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログ音声入力端子に同じ外部機器が接続されているか確認してください。 	20, 21

故障かな？と思ったら（つづき）

症状		確認内容	参照ページ
画面の映像が斜めに流れる (D-SUB 入力時)		●メニューの「クロック」と「位相」を調節します。	29
フル表示画面で粗い縦縞が見える (D-SUB 入力時)		●メニューの「クロック」を調節します。	29
画像の一部が抜ける (D-SUB 入力時)		●メニューの「自動調節」を行います。 ●入力信号が本機の推奨信号と合っているか確認してください。	29 40
フリッカにより横筋が上下に移動する (D-SUB 入力時)		●リモコンのメニューボタンを押して PC の信号状態を確認してください。	25
画面全体に文字列を表示すると、画面縦列の文字がにじんで表示される (D-SUB 入力時)		●メニューの「自動調節」を行います。 ●自動調節で改善されないときは、メニューの「クロック」を調節します。	29
画面全体に文字列を表示すると画面全体の文字がにじんで表示される (D-SUB 入力時)		●メニューの「自動調節」を行います。 ●自動調節で改善されないときは、最もくっきり見えるようにメニューの「フェーズ」を調節します。	29
細かい模様を表示させたときに画面がちらつく (D-SUB 入力時)		●メニューの「自動調節」を行います。 ●自動調節で改善されないときは、フリッカが見えなくなるようにメニューの「フェーズ」を調節します。	29
画面位置がずれている (D-SUB 入力時)		リモコンのメニューボタンを押して入力信号が本体の仕様に適合しているか確認してください。	25, 40
画像が縦に流れる		●信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。ケーブルをしっかりと接続しなおします。	20 ~ 22
画像がきれいに映らない、 画像がぼやける		●「フェーズ」、「クロック」の調整を行ってください。 ●すべての信号ケーブルの接続を取り外した後、電源を入れなおしてください。 ●解像度と周波数を推奨範囲に設定してください。	29 20 ~ 22, 23 40
画像が極端に明るい、 または暗い		●「黒レベル」、「コントラスト」、「バックライト」を調整してください。	28

仕様

型 式	LCM49-D1		LCM55-D1	
種 類	液晶ディスプレイ			
電 源	AC100V 50 / 60 Hz			
消 費 電 力	86 W		100 W	
	待機時 約 1 W (DPMS 「オン」 設定時約 2.8W)		待機時 約 1 W (DPMS 「オン」 設定時約 2.8W)	
受 信 機 型 サ イ ズ	49V		55V	
音 声	実用最大出力 JEITA	7W + 7W		7W + 7W
液 晶 モ ジ ュ ー ル	液 晶 パ ネ ル	49 V型 液晶ディスプレイ (16 : 9)		55 V型 液晶ディスプレイ (16 : 9)
	表 示 画 素 数	1920 ドット X 1080 ライン		1920 ドット X 1080 ライン
	バ ッ ク ラ イ ト の 種 類	LED		
	明 る さ	450cd/m ²		
	コ ン ト ラ ス ト 比	1100 : 1		
	パ ネ ル 寿 命	約 50,000 時間 (Typ.) パネル寿命は周囲温度 25 ± 2℃下における輝度半減までの目安です。使用環境によって寿命は短くなる場合があります。		
有 効 表 示 領 域	幅 107.4 X 高さ 60.4 / 対角 123.2 cm		幅 121.0 X 高さ 68.0 / 対角 138.8 cm	
表 示 色	1670 万色 (8ビット)			
視 野 角 度	水平 178 度、垂直 178 度			
音 声 出 力 端 子	φ 3.5 ステレオミニジャック			
入 力 端 子	HDMI 入力端子 : 1 個 Display Port 入力端子 : 1 個 D-SUB 入力端子 : 1 個 RS-232C 端子 : 1 個 音声入力端子 (φ 3.5 ステレオミニジャック) : 1 個			
外 形 寸 法	幅 110.1 X 高さ 63.8 X 奥行 5.9 cm		幅 123.7 X 高さ 71.4 X 奥行 5.9 cm	
質 量	19.8 kg		23.8 kg	
V E S A マ ウ ン ト	300 (水平) × 200 (垂直) mm、M6 ネジ			
使 用 周 囲 温 度	0℃ ~ 35℃			
許 容 湿 度	20% ~ 80% (結露なきこと) ただし、温度 30℃ ~ 35℃のときは 60% 以下で使用のこと。			
保 管 温 度	- 20℃ ~ 60℃			
リ モ コ ン	型 式	RMC-000220		
	電 源	DC 3 V 単 4 形乾電池 2 個		

●本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

●この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

This display set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

●本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

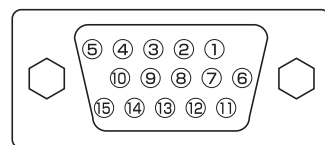
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値 (1 相当たり
の入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

仕様 (つづき)

入力信号

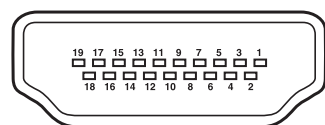
D-SUB 端子

ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	R	9	+5V
2	G	10	GND
3	B	11	NC
4	NC	12	SDA
5	GND	13	H.SYNC
6	GND_R	14	V.SYNC
7	GND_G	15	SCL
8	GND_B		



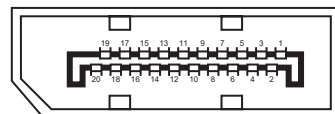
HDMI 端子

ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data2+	11	TMDS Clock Shield
2	TMDS Data2 Shield	12	TMDS Clock-
3	TMDS Data2-	13	CEC
4	TMDS Data1+	14	Reserved(N.C. on device)
5	TMDS Data1 Shield	15	SCL
6	TMDS Data1-	16	SDA
7	TMDS Data0+	17	DDC/CEC Ground
8	TMDS Data0 Shield	18	+5V Power
9	TMDS Data0-	19	Hot Plug Detect
10	TMDS Clock+		



Display Port 端子

ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	MainLane0+	11	GND
2	GND	12	MainLane3-
3	MainLane0-	13	GND
4	MainLane1+	14	GND
5	GND	15	Aux+
6	MainLane1-	16	GND
7	MainLane2+	17	Aux-
8	GND	18	ホットプラグ検出
9	MainLane2-	19	GND
10	MainLane3+	20	3.3V



仕様 (つづき)

推奨信号について

本機が表示できる信号は下表のとおりです。

映像信号 (HDMI)

解像度	周波数 (Hz)
1920 × 1080p	50
	60
1920 × 1080i ※ 1	60
1280 × 720p	50
	60

解像度	周波数 (Hz)
720 × 576p	50
720 × 480p	60

※ 1 1920 × 1080i 表示時 i/p 変換はされません。

PC 信号

信号名		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドット周波数 (MHz)	デジタル		アナログ
					HDMI	Display Port	D-SUB
VESA	640 × 480	31.5	60	25.175	○	○	○
		37.9	72	31.5	×	×	○
		37.5	75	31.5	○	○	○
	800 × 600	35.1	56	36	○	○	○
		37.9	60	40	○	○	○
		48.1	72	50	×	×	○
		46.9	75	49.5	○	○	○
	1024 × 768	48.4	60	65	○	○	○
		56.5	70	75	×	×	○
		60	75	78.75	○	○	○
	1152 × 864	67.5	75	108	○	○	×
	1280 × 768	47.8	60	79.5	○	○	○
		60.3	75	102.25	×	×	○
	1280 × 800	49.7	60	83.5	○	○	×
	1280 × 960	60	60	108	○	○	○
1280 × 1024	64	60	108	○	○	○	
	80.0	75	135	○	○	×	
1360 × 768	47.7	60	85.5	○	○	○	
WIDE	1920 × 1080	67.5	60	148.5	○	○	○
	1280 × 720	45.0	60	74.25	○	○	×
US TEXT	720 × 400	31.5	70	28.3	○	○	○

保証とアフターサービス (必ずご覧ください。)

修理を依頼される時は(出張修理)

35～37ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの購入先にご連絡ください。

保証書 (別添)

保証書は必ず「製品出荷日・販売店(購入先)名」などの記入をお確かめのうえ、購入先から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

尚、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 本製品の取扱説明書に記載された方法及び注意事項に反するお取扱い、又は、不当な修理やシステムの変更、改造による故障及び損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
- (ニ) 保証書のご提示がない場合。
- (ホ) 保証書に製品出荷年月日、お客様名、販売店(購入先)名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- (ヘ) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
- (ト) システムの点検清掃、またはシステムの性能を維持するための定期的な調整や保守的作業を行う場合。
- (チ) 液晶パネル劣化(輝度低下・色温度変化)の場合
- (リ) 使用条件「温度：0～35℃、湿度：20～80%(結露なきこと、ただし温度30℃～35℃のとき、60%以下で使用のこと)」以外でのご使用の場合
- (ヌ) その他、保証書記載の保証条件外の場合

保証期間…保証書に記載の製品出荷日から5年です。

ご連絡していただきたい内容

品名	日立インフォメーションディスプレイ
型式	本体： LCM49-D1 LCM55-D1 リモコン： RMC-000220
保証書記載の製品出荷日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	


ご購入店名、保証書記載の製品出荷日を記入しておいてください。サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名	保証書記載の製品出荷日
電話 ()	年 月 日

長年ご使用のインフォメーションディスプレイの点検をぜひ！.....

熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検



このような症状はありませんか

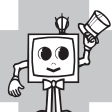
- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

➔

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず購入先にご相談ください。

ちょっとした心づかいでディスプレイの安全



補修用性能部品の保有期間

インフォメーションディスプレイの補修用性能部品の保有期間は、最終製品出荷後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、ご購入先にお問い合わせください。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

お客様ご相談窓口

日立インフォメーションディスプレイについてのご相談や修理はお買上げの購入先へ

修理などアフターサービスに関するご相談の前に、故障かな?と思ったら(35～37ページ)をご覧ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
「日立業務用ディスプレイ修理窓口」コールセンターへ
TEL 0570-0380-98

(受付時間)

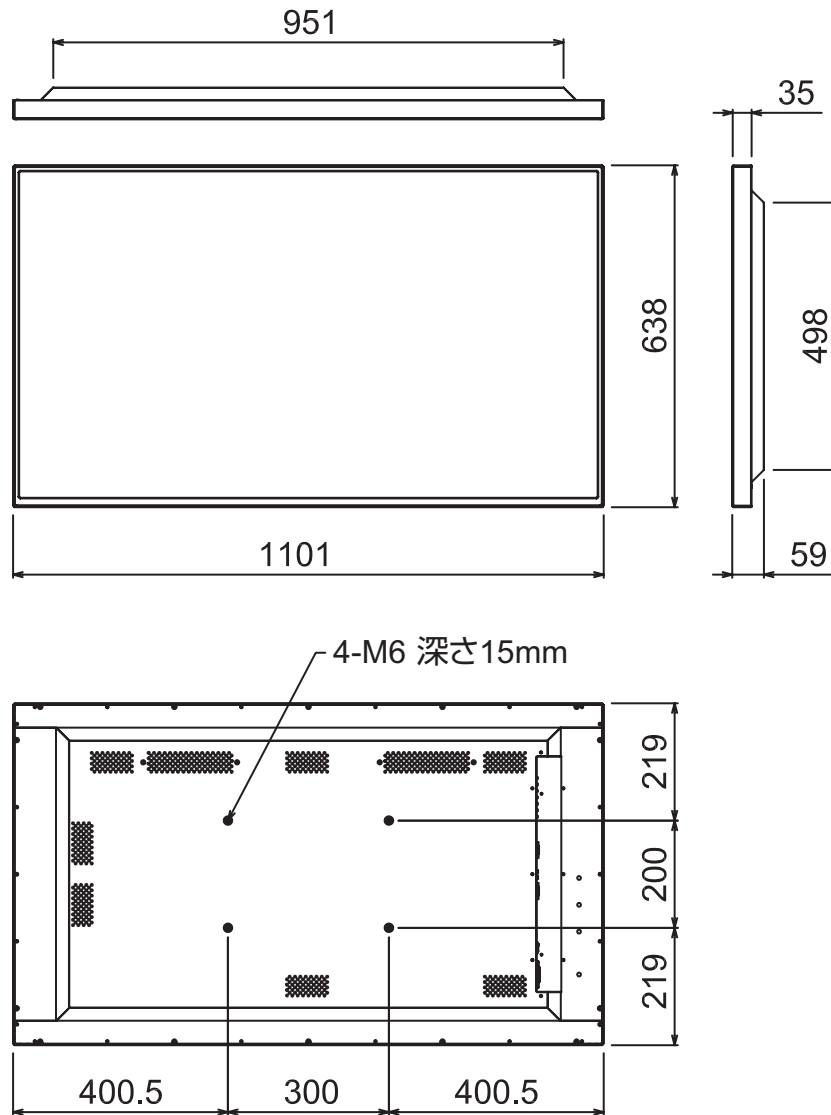
9:00～17:00(月～金)

土・日・祝日、年末年始(12/30～1/3)は休ませていただきます。

携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記コールセンターにて、修理手配をさせていただきます。
- 本窓口等で取得しましたお客様の個人情報は、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

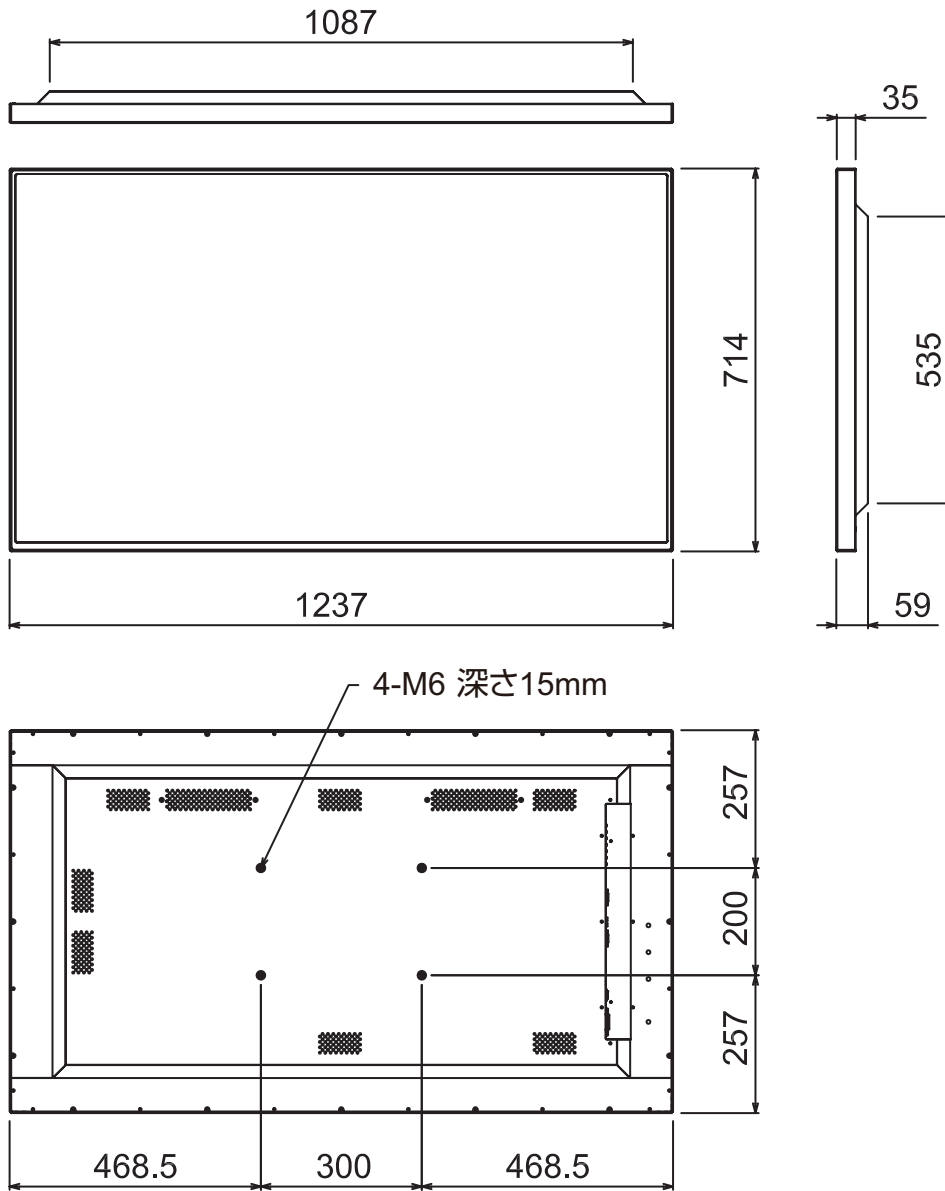
(単位: mm)



外形寸法について

LCM55-D1

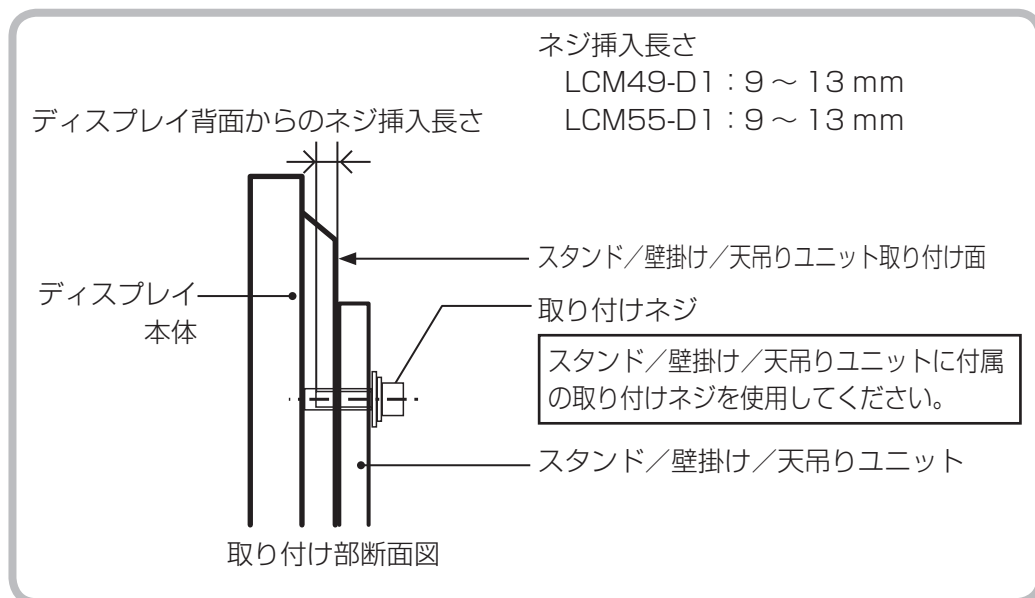
(単位: mm)



スタンド／壁掛け／天吊りユニット取り付け時について

スタンド／壁掛け／天吊りユニット取り付け時の注意

- 取り付け工事は必ず専門業者に依頼してください。
- 壁掛けの場合は、通気孔からの空気の流れにより、壁を汚す原因となる場合があります。
- 取り付け工事が不完全ですと、けがの原因になります。
- スタンド／壁掛け／天吊りユニットを取り付ける際は、スタンド／壁掛け／天吊りユニットに付属の取り付けネジを使用し、付属の取り付けネジ以外は使用しないでください。
- スタンド／壁掛け／天吊りユニット取り付け面からのネジ挿入長さは下図のように設定されています。必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。
- 締め付けトルクは約 294N・cm (30kgf・cm) としてください。
- 天吊りユニットの場合は、寸法図を参考に天井強度が十分確保されている設置場所を決めてください。また、天吊りユニットの高さ調節位置や画面の前傾角度、左右角度も事前に設定してください。
- スタンド／壁掛け／天吊りユニットの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。



⚠ 注意

ネジの長さが短すぎるとディスプレイ本体の重さを維持することができず、落下してけがの原因となることがあります。

また、長すぎるとネジを完全に締めることができません。

スタンド／壁掛け／天吊りユニット取り付け面からのネジの長さは非常に重要です。

 日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

〒105-8413 東京都港区西新橋 2-15-12

QR88851